



幅広の車もこれなら安心です。

二階部分のリビングと連結したハイデッキです。ご主人の車は、幅広の車の為に、ハイデッキ柱の建てる位置に配慮しました。

また、デザインにも配慮して、ハイデッキの脚部部分を出来るだけシンプルに構成しました。

デッキの荷重は柱で受けています。揺れ防止のために、住宅部分2箇所とコーチボルトでとめています。

約8m²の部屋が出来上がりお子様も大満足。

正面玄関の門柱

正面玄関には、イペ材を縦に並べて、「ボンボビ」というドイツ製の大型ポストを取り付けてみました。日本のメーカーのポストは小さくて大型カタログが入りにくいのですが、この「ボンボビ」なら大丈夫。価格も37000円程度で鍵もついています。



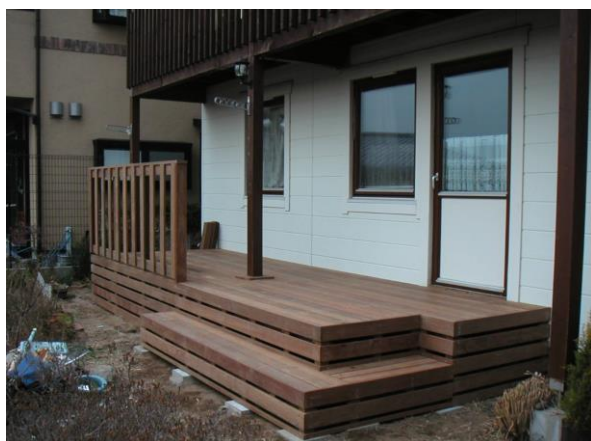
オリジナルデザインの門柱は如何ですか。



表札も陶器で焼き上げたランドマークオリジナルです。奥様と打ちあわせてデザイン決定し、焼き上げました。



もうひとつのウッドデッキを紹介します。
鎌倉市の井上邸です。スウェーデンハウスの住宅ですので二階部分にはスウェーデンパインのデッキが付いています。



スウェーデンパインのデッキは
毎年のメンテナンスが必要で大変だそうです。

その点今回のランドマークのイペデッキならば
メンテナンスも特に必要ありません。

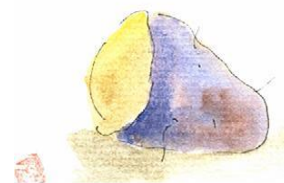


塗装無しでも10年の防腐・防蟻の保証が付いています。
全てのデッキ・フェンス・門柱に対して保証します。

Topics

危険なハイデッキ

危険なハイデッキ

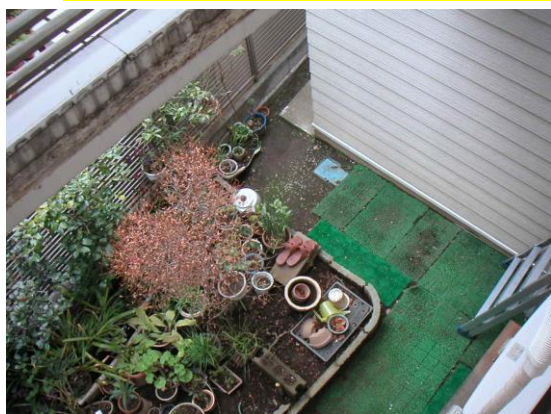


下の写真をご覧ください。藤沢市本藤沢の写真です。
二階からの撮影ですが、ここには、レッドシダーのデッキが貼ってありました。
施工7年目の今年1月5日に、奥様が布団を乾そうとしてデッキに乗った時、
ウッドデッキ床が全て落ちてしまいました。奥様も3メートルから落下し、肋骨を折りました。

ウッドデッキが倒壊するときは、徐々に壊れるのではなく、根太部分が腐っていれば
一気に壊れてしまいます。一瞬で倒壊するのです。

このような危険なハイデッキが湘南地区では沢山あります。
耐久性を全く考えない素材と施工がこの様な悲劇を招きます。
レッドシダーと、鉄製の釘が、耐久性の無いハイデッキをこの様な姿にしました。

今後この様な事故は多発します。
だからこそ、ウッドデッキはイペ材やセランガンパツ材のハードウッドにし、ステンレスビスを
使う必要が有るのです。住宅メーカーはデッキに関しては全く無知です。



倒壊した後のハイデッキ

☆☆だからウッドデッキはランドマーク株式会社
にお任せ下さい。
専門業者ですからノウハウいっぱい持っています。

